

春の全道火災予防運動

4月20日～4月30日

「消しまつよう」の日の時「その場所だ」

松前消防署 ☎42-2119

春の全道火災予防運動は、火災が発生しやすい時季を迎えるに当たり、火災の予防思想の一層の普及を図り、火災の発生を防止しようとするものである。

特に住宅火災では高齢者を中心とする犠牲者が約7割と増えていますので、火災による高齢者の死傷者を大幅に減少させることを目指しています。

「火災の件数 知っていますか？」

平成28年の1月～9月までに全国で発生した火災の件数は2万8千4百41件で、これは、1日あたりおおよそ百4件、14分ごとに1件発生していることとなります。その内、総死者数は1千36人で、建物火災で亡くなった方は7百89人となっています。亡くなった方の内、65歳以上の高齢者は約

7割にあたります。

逃げ遅れによる避難を防止するためにも高齢者だけを家に残したまま外出するときはご近所に一声かけるなど日頃からのコミュニケーションを心掛けましょう。

火災の発生原因で一番多いのはたばこによる火災です。たばこの火の不始末や寝たばこにより火災が多く発生しています。たばこを吸った後は完全に火を消し吸殻も貯めずにこまめに捨てるようにしましょう。



2番目に火災原因で多いのが放火です。雑誌や新聞紙などの燃える物を放置すると、そこに放火される可能性もあります。家の周りには整理整頓し燃えやすい物は外に置かないようにしましょう。

「住宅用火災警報器の奏功事例」

松前町管内において住宅用火災警報器が有効に作動し、大事に至らなかつた事例を紹介いたします。

事例1

居住者がガスコンロに鍋をかけたまま外出し、空焚きの状態となった鍋の内容物が焦げたことにより煙が発生、設置していた警報器が作動し、音に気づいた近隣の住民が通報し、大事に至りませんでした。



事例2

タバコの不始末により座布団が燃え、煙が発生、設置していた警報器が作動、音に気付いた近隣の住民が通報し大事に至りませんでした。

このように住宅用火災警報器は火元の居住者だけではなく、近隣の住民に対しても、火災の発生を知らせることが出来ます。月に1度本体のひもを引くかボタンを押し、いざという時に確実に作動するように確認しましょう。

電池の寿命は10年が目安となります。電池の寿命が近づくと音声やランプで知らせてくれますので新しい電池と交換しましょう。

また、交換しても作動しない場合は本体の故障が考えられますので販売元へ連絡し、修理及び交換を依頼しましょう。

その他不明な点がありましたら松前消防署までお問い合わせください。

「受けてみませんか 救命講習」

松前消防署では、AED（電気ショック）を取り入れた心肺蘇生法など人形を使った救命講習を随時受け付けております。職場の同僚やサークルの仲間と一緒に受講されてはいかがですか。もちろん一人でも受講は可能です。

松前消防団女性団員を募集中!

松前消防団では、女性団員を募集しています。

詳しくは松前消防署管理係までお問い合わせください。

問 ☎42-2119

